

国 語 科	科目名	現代文	担当者	仲村優子、金城治男
履修学科	情報技術科・インテリア科・デザイン科・調理科			
履修学年	第 3 学年	履修単位	3 単位	
概要及び目標	1. 近代以降の様々な文章を読む能力を高める。 2. 適切に表現する能力を高め、ものの見方、感じ方、考え方を深める。 3. 進んで読書することによって国語の向上を図り、人生を豊かにする態度を育てる。			
評価基準及び方法	1. 授業に取り組む姿勢 2. 定期テストの成績 3. 小テストおよび提出物			
使用教科書及び教材	『高等学校標準現代文 B』（第一学習社） 『漢字マイスター 頻出漢字熟語 3000（第一学習社）			
その他留意点	・さまざまな視点や立場に立って考える習慣を養う。 ・語彙力の向上を図る。 ・グループワークや発表活動への取り組み方も重視する。			

学習計画

月	単元名	学習内容と方法
4	言語活動 ・文章ルールの基礎 ・事実と意見を区別する 自己を見つめる ・耳を澄ませば世界は広がる 小説を読む ・調律師のるみ子さん 新しい発見 ・新しい地球観	・文章語と口語の違いを確認し、文章の基礎事項を具体的に理解する。 ・文章を正確に読むために欠かせないこれらの区別について、基本の確認と練習問題を通して定着を図る。 ・随想の読み方を習得する。コミュニケーションの方法について主体的に考える。 ・現代小説のおもしろさを味わい、読解のしかたを習得する。小説全体の構造とねらいを理解する。 ・随想的な要素を持つ評論の読み方を習得する。様々な地図が形作る「世界の見方」について考える。
5	言語活動 ・自己 PR 文を書く 言葉と生活 ・情けは人の…… ・マジ？	・読み手を納得させる書き方を、具体的に学習する。 ・随想的な要素を持つ評論の読み方を習得する。筆者の言葉に対するこだわりや愛着を理解し、自らの言語生活を見つめ直す。「マジ」という言葉の「語誌」を例として、言葉の意味の変遷について理解する。
6	小説を読む ・相棒 ・ナイン	・現代小説のおもしろさを味わい、読解のしかたを習得する。登場人物の性格・心理・行動の変化を読み取る。作品の主題を理解し、人や人生に対する見方を深める
7	科学と情報 ・僕らの時代のメディア・リテラシ	・論理的な文章の読み方を習得する。メディアを見る姿勢について、身近な番組などを例にして考える。
9	小説を読む ・鼻 実用の文章 ・注連縄—つつましく貧しく清楚な形	・人物像や心情の変化を読み取る。自己のものの見方や考え方に引きつけて考える。 ・目的に応じて異なる、実用の文章のねらいや効果について理解する。注連縄について、この文章から読み寄れる情報を整理して理解する。

月	単元名	学習内容と方法
9	世界を見つめる ・ワスレナグサ	・文章の構成の特徴について理解する。作品の主題に迫り、自然と人間のかかわりについて自らの考えをまとめる。
10	世界を見つめる ・食と想像力 小説を読む ・話を聞かせて	・食という身近なものを新たな視点から見つめ直し、自己に引きつけて考える。 ・作品の構成の特徴、「私」の心情の変化について理解する。小説の主題に迫り、「自分と他人」「思いやり」などについて考える。
11	新しい視点 ・思い込みの危険性 言語活動 ・研究発表のしかた 新しい視点 ・物語を発現する力	・具体例と抽象的な記述との関係を理解する。「思い込み」に陥ることの危険性について、自己の体験とも対照しながら考える。 ・自分の意見がすぐに伝わる効果的なプレゼンテーションの方法を学ぶ。 ・「五コマ漫画」や「八つのシーン」を見て「物語」をつくり、発表する。「物語を発現する力」の持つ意味について、自身の体験などに引きつけて考える。
12	生への思索 ・経験の教えについて ・〈私〉時代のデモクラシー	・具体例と抽象的な記述との関係を理解する。経験と自己認識との関係について理解し、経験に学ぶことの重要性についてまとめる。 ・伝統的な社会と近代における「デモクラシー」の違いについて理解する。自分が所属している〈私たち〉の例を挙げ、その特徴について考える。
1	現代と文化 ・文化とは何か 小説を読む ・山椒魚 ・山月記	・具体例と抽象的な記述との関係を理解する。筆者の意見を参考に「異文化コミュニケーション」について自分の身に引きつけて考える。 ・それぞれの場面において、山椒魚の心情がどのように変化しているかを読み取る。作品中の物事がどのようなことを象徴しているかを考える。 ・主人公の変身にこめられた意味を考え、この小説の主題をまとめ発表する。
2	言語活動 ・報告文の書き方	・簡潔でわかりやすい表現で、具体的で正確な報告文を書く。